

# 社協だより



「ボランティアは自分育て！」

令和6年度ふれあいいきいきサロン

ボランティア研修会を開催しました!

日向市全域で実施されているふれあいいきいきサロン活動の運営を担っているサロンボランティアの研修会を7月26日(金)に開催しました。

講師に高齢者の集いの場『北浦元気塾』をパワフルに運営している河野奈美子氏を招いて、『元気塾の元気のヒ・ケ・ツ』と題して講義をしていただきました。「まずは提供者が楽しむことが大切。楽しい場所に人は集まる!」「ボランティアは自分育て!」など。講師の言葉が参加者の心をつかみ、今後のサロン活動活性化への原動力に繋がる研修会になりました。



講師から身近な素材を用いた手作りゲームの紹介や、全身を使って楽しめる手遊びや脳トレを披露していただき、参加者には手軽に取り組めるサロン活動の参考になっていました。



じぶんの町を良くするしくみ。

# 赤い羽根共同募金



～あなたと私は、赤い羽根でつながっている。～

……………募金期間 令和6年10月1日(火)～令和7年3月31日(月)……………

赤い羽根共同募金運動は、戦後間もない昭和22（1947）年に、市民が主体の民間運動として始まりました（今年で78年目を迎えます）。戦後復興の一助として始まったこの運動は、社会情勢が変化する中、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、さまざまな地域福祉の課題解決に取り組む民間団体を応援する「じぶんの町を良くするしくみ」として取り組んでいます。

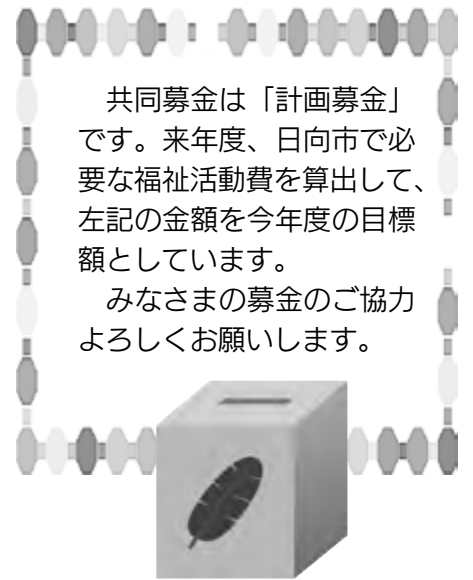
日向市共同募金委員会では、宮崎県共同募金会の事業計画を基本にしながら、区長公民館長連合会をはじめ、民生委員児童委員協議会、ボランティア団体等や関係機関と連携をして、広報・啓発活動に努めています。

今年も厚生労働大臣の告示を受け、全国一斉に10月から活動が始まります。みなさまの募金をよろしくお願いたします。

## 令和6年度の募金目標額 6,409,000円



- ・区長公民館長連合会のご協力による戸別募金 3,200,000円
- ・市内のイベントや店舗前での街頭募金 600,000円
- ・民生委員児童委員のご協力のもと市内の企業や商店からいただく法人募金 1,600,000円
- ・小中学校の児童・生徒のご協力による学校募金 150,000円
- ・社会福祉施設職員のご協力による職域募金 800,000円
- ・その他の募金 59,000円



共同募金は「計画募金」です。来年度、日向市で必要な福祉活動費を算出して、左記の金額を今年度の目標額としています。

みなさまの募金のご協力  
よろしくお願いたします。

## 令和7年度に日向市で必要な福祉活動費 4,326,000円(A)

区分	内容	福祉事業費
高齢者福祉活動費	介護保険制度などを使わずに、在宅生活において家族介護されている方たちの団体や高齢者クラブ連合会の活動に活動費助成を実施。(2団体)	130,000円
障がい児者福祉活動費	障がい者団体やその家族の会などの活動、地域住民との交流活動を支援するための活動費助成を実施。(6団体)	760,000円
児童・青少年福祉活動費	市保育協議会で企画・実施されるイベント費用の助成や、日向市母子寡婦福祉連絡協議会への活動費助成を実施。(2団体)	270,000円
住民全般福祉活動費	日向市区長公民館長連合会や日向市民生委員児童委員協議会などの地域を基盤として活動する団体への活動費助成や、ボランティア団体・地域福祉推進を担う団体への活動費助成を実施。(17団体ほか災害援助活動)	3,166,000円

## 県全体で使われる募金 2,083,000円(B) 運動費・各種県域助成

(A) + (B) = 6,409,000円(令和6年度 目標募金額)

スマホからも募金  
できます♪



【問合せ先】 宮崎県共同募金会日向市共同募金委員会 【日向市社協事務局内】 担当：河野

# 令和5年度事業報告・決算報告

## 令和5年度の実施事業報告

日向市社会福祉協議会は、地域福祉を推進する中核的な団体として、地域住民及び福祉組織・関係者の協働により地域生活課題の解決に取り組み、誰もが支え合いながら安心して暮らすことができる「ともに生きる豊かな地域社会」づくりを推進してきました。

《令和5年度の6つ重点目標》

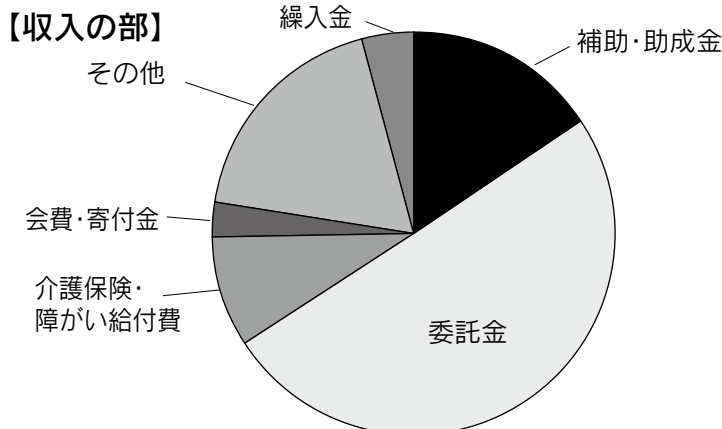
- 「重層的支援体制整備事業」 「生活困窮者自立支援事業」 「生活支援サービス体制構築等推進事業」  
 「放課後児童健全育成事業」 「権利擁護支援体制整備事業」 「中山間地域福祉推進体制事業」



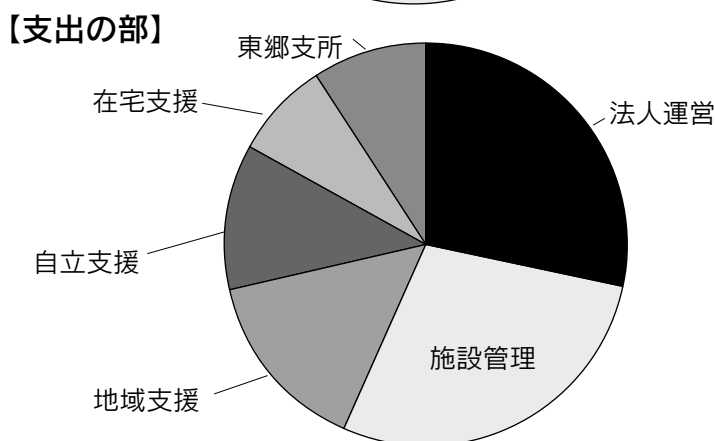
令和5年度は地域座談会を実施しました。新型コロナウイルス感染拡大の影響により本会職員が地域に出向いて地域住民と意見を交わす機会が減っていたので、久しぶりに地域の声を聞き取る機会となりました。座談会で集められた地域の課題は、解決に向けて区の関係者等と協議を進めています。

## 令和5年度収支決算報告

令和5年度の決算報告をします。



科目	金額 (円)	構成比
補助・助成金	59,208,480	15.8%
委託金	187,376,004	50.1%
介護保険・障がい給付費	33,833,866	9.0%
会費・寄付金	10,604,197	2.8%
その他	68,036,166	18.2%
繰入金	15,207,565	4.1%
合計	374,266,278	100.0%



科目	金額 (円)	構成比
法人運営	106,247,894	28.6%
施設管理	104,274,610	28.1%
地域支援	55,247,431	14.9%
自立支援	42,799,304	11.5%
在宅支援	29,446,200	7.9%
東郷支所	33,609,090	9.0%
合計	371,624,529	100.0%

(収入額) 374,266,278円 - (支出額) 371,624,529円 = 2,641,749円

# いきいき百歳体操で筋力UPを目指しましょう!

「いきいき百歳体操」は、平成14年に高知市が開発した、おもりを使った筋力向上のための体操です。現在、日向市では90カ所の会場で実施されています。



おもりは一人ひとりの体力に応じて調節することができ、無理なく自分のペースで筋力をつけることができます。



## 【タイムアップアンドゴー】



3m歩行の時間を測定



片足立ちの時間を測定

## 【開眼片足立ち】



日向市社会福祉協議会では、体操を始めた初回、3か月後、6か月後、1年後、2年後と体力測定を行っています。どちらの測定でも7割程度の参加者が『筋力の維持または向上が見られる』という結果が出ました。筋力がつくと立ち座りや階段の上り下りが楽になるだけでなく、体幹がしっかりすることで転倒予防にもつながります。また、地域で取り組むことで人とのつながりが生まれ閉じこもりや認知症予防の効果もあります。



お住まいの地域の会場を知りたい、どんな体操なのか体験したい等、お気軽に  
お問合せください。

【問合せ先】地域福祉課 地域支援係



～ 共に生き ともに歩もう 認知症 ～

9月は「認知症月間(アルツハイマー月間)」です!



日向市社会福祉協議会では、認知症の人やその家族・支援者が安心して暮らせる地域づくりを推進することを目的に、認知症を正しく理解していただくための啓発活動や、認知症の人やその家族を支える人材の育成及び支援体制の整備、早期発見・対応の仕組みづくり等に取り組んでいます。

### ■日向市認知症地域支援体制推進会議（FIT会議）の開催

- 認知症サポーター養成講座の実施
- コミュニティカフェ（認知症カフェ）の開催
- 認知症の人にやさしい図書館プロジェクト
- 本の処方箋プロジェクト
- 傾聴ボランティアによる傾聴活動
- 認知症の人にやさしいお店♡事業所プロジェクト
- 地域啓発、地域活動への支援・協力



認知症サポーター養成講座



認知症カフェ

令和6年1月1日に施行された「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」では、国民の間に広く認知症についての関心と理解を深めるため、9月21日を「認知症の日」、9月を「認知症月間」と定めています。

日向市社会福祉協議会では、「認知症月間」に合わせ、東郷診療所、日向市役所、日向市総合福祉センターにおいて、日向市の認知症に関する取り組みについての展示を行います。

また、9月13日～9月21日は、日向市庁舎を認知症のシンボルカラーである「オレンジ色」にライトアップします。（※9月14日は点灯されません）

この機会にぜひ認知症について知っていただき、ともに安心して暮らせる地域について考えていきましょう!



昨年度の展示の様子

【問合せ先】地域福祉課 地域支援係

# 令和6年度 社会福祉教育推進校会議



日向市では、地域の福祉課題・生活課題が複雑多様化してきている状況があり、地域のつながりが希薄化している現状があります。このような状況の中、「住み慣れた地域で他者（立場の異なる人）と共に暮らす」ためには、いのちを大切に、違いを認め、共に生きるための“ふくしの学び”が必要になっています。今回の会議を通して、地域に根ざした豊かな福祉教育を実践し、児童生徒が主体的に活動できるよう、それぞれの地域・学校の特性に合わせた福祉教育プログラムの実践に向け、学校教員と共に福祉教育について考えました。

## 令和5年度日向市内の福祉教育の現状



授業時間計159時間、日向市内16校の小・中学校、高等学校を対象に福祉教育を実施しました。“ふくし”の学びの先に「地域の人たちとの関わりの中で、児童・生徒が主体的に考え、行動する」ことを目的とした福祉教育（地域を基盤とした福祉教育）の推進を行っています。



高齢者スマホ教室



地域の外国人と交流

## 昨年度実践報告



富島中学校3年生福祉教育実践 / 財光寺中学校 主幹教諭 池田洋一

昨年度富島中学校では、福祉への関心と正しい理解を図ることを目的に、福祉について学び、ふだんのくらしをしあわせにするために地域の中で自分たちができることを考え・実践するという地域福祉活動に取り組みました。

地域福祉活動では、学生が百歳体操の会場に訪問し、交流会を開催しました。交流会では、地域の高齢者の方が普段から取り組んでいる百歳体操を体験した後に、学生が企画したレクリエーションを行いました。百歳体操参加者、学生ともに笑顔が絶えず、楽しい時間を過ごしていました。

今回の交流会を通して、学生が主体的に考え・行動し、福祉についての学びを地域の中で活かすことができました。

### ■ 学生の感想

みんなが楽しそうにしている様子を見て、私たちもつい笑顔になりました。今まで頑張って準備してきたよかったです。また機会があったら地域の活動に参加したいです。

### ■ 百歳体操参加者の感想

色々なゲームをしてすごく楽しかったです。交流会の時に折り紙で作ったペンダントをもらい、今も大切にしています。おばあちゃんの知恵が子ども達の役に立てればいいと思うのでまた来てほしいです。



実践報告



地域福祉活動



地域福祉活動

## グループワーク



各圏域の担当職員と福祉教育担当教諭で積極的なグループ協議を行うことができました。それぞれの地域・学校の特性に合わせた福祉教育の実施に向け、学校の現状や課題、地域の資源について相互に共有しながら、福祉教育へのイメージを膨らませました。

今年度も、地域に根差した福祉教育の推進を行っていきたくと考えています。地域・関係者の皆さんの活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



グループワーク

# 令和6年能登半島地震 災害派遣報告

令和6年1月1日(月)に発生した、令和6年能登半島地震に伴う被災地派遣として、本会より2名の職員が珠洲市災害ボランティアセンター(以下、災害VC)にて被災地支援活動を行いました。

2名ともに「現地調査班」に配属され、現地住民への聞き取り調査(ニーズ調査)や相談支援活動を行いました。

## 本会から珠洲市災害VCへの派遣職員

加藤正憲 派遣期間：令和6年6月23日(日)～29日(土)

藤田あやめ 派遣期間：令和6年7月17日(水)～23日(火)



## 珠洲市の被災状況・災害VCの現状(6月10日現在)

- 住家被害 全壊 2,099戸 半壊 1,778戸 一部損壊 3,088戸
- 水道 各戸への復旧率2割程度 ○ 仮設住宅 着工1,328戸 完成854戸

市内全域で被害。ほとんどが家屋の倒壊であるが、沿岸部では津波被害、中山間地域では土砂崩れによる被害が見られる。市内広域の道路で地割れや隆起、土砂崩れによる封鎖がある。

■ 市内全5,000世帯のうち、実際に聞き取り調査を実施できている世帯数は800世帯。避難先から人が戻っていない状況が続いており、聞き取り調査や支援活動がスムーズに進んでいない要因でもある。

■ 被災者からのニーズのほとんどが倒壊した家屋からの貴重品の取り出し、運びだし、屋根のブルーシート張り等であることから、専門的技術を持ったボランティアが必要だが不足している状況にある。



## ～ 現地調査で出会った“住民の声”～

「本当は家を壊して早く忘れたい、忘れたいけど…」

珠洲市は昨年5月にも震度5強の地震があり、家屋の倒壊が起こっています。住み続けたいけど、また同じことになるのではないかと“恐怖”と“諦め”、思い出が残っている家を壊さないといけないという“悲しみ”、復興支援が進んでいないことへの“怒り”…。住民の様々な葛藤する想いに寄り添う支援を行いました。



「この景色を当たり前を感じる自分が怖い」

「被災から半年たった今も被災直後の景色と全く変わらない」。右の写真のような風景に慣れてきて違和感を感じなくなっていることを話していました。要因は一概には言えませんが、災害支援を行う関係機関(社協、行政、企業、地域住民等…)の日頃からの連携や理解が必要であると実感しました。



## 珠洲市災害VCへの派遣を終えて…

日向市内で大規模災害が発生した際には本会が災害VCを設置・運営することになっています。令和6年能登半島地震では、インフラ面、災害VCの運営、ボランティアの招集、専門職の派遣等、“想定外”の状況が数多く発生していました。「陸の孤島」とも呼ばれる宮崎県内でも類似した状況になると考えられます。大切なのはいざ“想定外”が発生した時に対応できるような組織体制や関係機関、地域住民等との関係性の構築であると考えています。今回の災害派遣での学びを教訓に本会での災害支援体制構築につなげていきます。



# じどうかん・センターだより

指定管理者として日向市から管理を受託して、事業運営を行っています。

ひちやじどうせんたー  
**日知屋児童センター** ☎：52-8443

**9月14日(土)**

『お茶を楽しもう』(小)

☆自分でお抹茶を点ててみましょう♪

☎時 間：

14：00～15：30

☎場 所：日知屋公民館 和室

☎定 員：30名



**9月27日(金)**

『いのちの教室(動物にやさしく)』(小)

☆みんなで命のお勉強をしましょう。

☎時 間：15：00～16：00

☎定 員：40名



**10月16日(水)**

『ハートフルネスタッチケア』(幼)

☆家村恵梨さんにベビーマッサージを教えてください。

親子でリラックスした時間を過ごしましょう♪

☎時 間：10：30～11：30

☎定 員：10組

**10月26日(土)**

『センターまつり』(全)

☆みんなでいろんなゲームをして楽しもう！

☎時 間：14：00～15：30

☎定 員：なし



だいおうだにじどうかん  
**大王谷児童館** ☎：66-1177

**9月7日(土)** 『楽しいお茶会』(小)

☆日本古来の伝統文化「お茶」。心穏やかにして、行儀よく作法を楽しく学びましょう。

☎時 間：14：00～15：30

☎定 員：30名程度



**9月13日(金)・14日(土)**

『もくもくオモチャ広場』(全)

☆児童館の遊戯室がオモチャ広場になるよ♪真志喜さん手作りの木の温もりを感じるオモチャが大集合！

☎時 間：

13日 14：00～16：30

14日 10：00～12：00、13：00～16：30

☎定 員：なし



**10月12日(土)**

『陶芸家集まれー！』(小・中・高)

☆小さな陶芸家気分で自分だけの作品を作ってみよう♪

☎時 間：

14：00～15：30

☎定 員：30名程度



**10月23日(水)**

『ちびっこ運動会』(幼)

☆はいはいかけっこヨーイドン！

ちびっこちゃん達のミニミニ運動会♪

☎時 間：

10：30～11：30

☎定 員：12組程度



行事はいずれも無料で参加できますが、必ず事前にお問合せください。

定員になり次第締め切りとさせていただきます。

※対象者の表記について

- ・幼・・・幼児親子
- ・小・・・小学生
- ・中・・・中学生
- ・高・・・高校生
- ・全・・・幼児親子、小学生、中学生、高校生

Instagram  
 配信しています♪



HICHIYA\_JIDOU



DAIOU\_JIDOU

香典返し・一般寄付ありがとうございました。

7月・8月・9月は…

「みやざきボランティア体験月間」です！

ボランティア体験月間は、地域住民の方々にボランティア活動を体験できる機会を提供し、自分たちの暮らす地域社会への理解・感心を深めること、ボランティア活動への興味・関心を高めるきっかけにすることを目的に実施されています。

新型コロナウイルス感染症の影響で、ボランティア活動が実施できない状況が続いていましたが、「5類感染症」へと移行し、行動制限が大幅に緩和されてきたことで、ボランティア活動者はコロナ禍以前の8割程まで回復しました。

今後の更なる活動の活発化に向け、日向市ボランティア・市民活動支援センターとしてボランティア活動に興味・関心のある方のサポートやボランティア団体の活動支援に力を入れていきます。

ボランティア活動に関するご相談や質問等ございましたらお気軽にご連絡ください。

日向市では…

「夏休み児童サポートボランティア」を実施しました！

日向市ボランティア・市民活動センターでは、ボランティア体験月間のプログラムとして「夏休み児童サポートボランティア」を募集し、日向市内の高校生27名が参加しました。

「夏休み児童サポートボランティア」とは、学生が夏休み期間中に日向市内の児童クラブで小学生の遊びや勉強をサポートする活動です。



参加した学生の感想

- 子ども達と話していくうちに自分の好きな物や友だちのことを教えてくれるようになってとてもうれしかったです。コミュニケーションの大切さを改めて感じることができました。
- 小学生と関わる機会が少ないので、会話することが難しかったけど、声をかけてもらえてうれしかったです。
- 子ども達と過ごすのが楽しいです！！

担当：藤田

〈香典返し〉敬称略

令和6年6月分

喪主(または寄付者)	故人	地区
木村 懌子	木村 映一	亀崎中
和田 勲	和田 シゲ子	比良
赤木 由香里	赤木 つき子	往還
河野 誓記	河野 フミヨ	山下
巖水 正朋	巖水 政鵬	中町
小川 英夫	小川 アツ子	往還
田中 学	田中 美保子	下原町
川野 ケサ子	川野 郷作	切島山2
鈴木 一治	鈴木 ウラエ	本谷
江藤 加代子	江藤 正男	堀一方
那須 ミサ子	那須 勝實	坪谷
甲斐 享子	甲斐 勝	中原
松木 通雄	松木 政子	向江町

〈一般寄付金〉敬称略

令和6年6月分

氏名	金額
宮崎県介護福祉士会 県北ブロック	5,000円

〈物品寄贈寄付者〉敬称略

令和6年6月分

氏名	地区	物品
松岡 芳和	庄手	紙おむつ

〈香典返し〉敬称略

令和6年7月分

喪主(または寄付者)	故人	地区
日高 一直	日高 クニ子	公園通り
中野 星子	中野 孝	田野
日高 須磨子	日高 七次郎	長江
矢野 善文	矢野 ソノエ	仲深
高澤 幸信	高澤 民世	日向台
奈須 克臣	奈須 トキミ	奥野
半田 長行	半田 敦子	坪谷
松木 美紀子	松木 幸太郎	本谷
矢野 眞二郎	矢野 智之	比良
松木 エイ子	松木 政幸	山下
田中 ユリ子	田中 貞雄	下原町
舛田 正生	舛田 サチ子	迫野内
木上 千枝子	木上 岩雄	幸脇
田原 直喜	田原 たみよ	亀崎東
伊東 松実	伊東 チエ子	八重原
黒木 幸徳	黒木 きよ子	奥野
石川 加代	小川 シノブ	向江町

〈一般寄付金〉敬称略

令和6年7月分

氏名	金額
黒木 淳子	10,000円

〔発行者〕



社会福祉法人  
日向市社会福祉協議会

〔日向市生活相談・支援センター心から〕  
〔日向市ボランティア・市民活動センター〕

この情報誌は市民の皆様からいただいた社協一般会員会費で作られています。奇数月に発行。

〔日向本所〕

〒883-0034 日向市大字富高207-3

日向市総合福祉センター

TEL(0982)52-2572/FAX(0982)52-9562

ホームページアドレス <http://hyuga-shakyo.or.jp/>

〔東郷支所〕

〒883-0102 日向市東郷町山陰丙1265-2

日向市東郷地区総合福祉センター

TEL(0982)69-2116/FAX(0982)69-2274

Eメールアドレス [hyuga207@eagle.ocn.ne.jp](mailto:hyuga207@eagle.ocn.ne.jp)



この情報紙は再生紙を利用しています。

印刷所 有限会社 第一印刷